



## 雪崩緊急点検実施結果について

山形県内の直轄国道沿線の累加降雪量は、いずれも過去5ヶ年平均を大きく上回る結果となっており、これからの時期は、気温の上昇や降雪等によっては雪崩が発生しやすい状況となります。

山形河川国道事務所と酒田河川国道事務所では、これまでの雪崩予防・防止対策として、雪崩防止柵等を設置するとともに、道路パトロールにより危険箇所の確認を実施しておりますが、今回雪崩対策の専門家と合同で危険箇所の点検を実施しましたので、点検結果をお知らせします。

### 山形県内の代表地点の累加降雪量（数値は各年とも2/28現在）

国道13号 尾花沢除雪ST	H25: 1, 246cm(5ヶ年平均 872cm)	H24: 1,361cm	H23: 910cm
国道47号 長沢除雪ST	H25: 1, 155cm(5ヶ年平均 804cm)	H24: 1,195cm	H23: 908cm
国道112号 湯殿山除雪ST	H25: 2, 203cm(5ヶ年平均 1,740cm)	H24: 2,112cm	H23: 1,638cm
国道112号 月山沢除雪ST	H25: 1, 793cm(5ヶ年平均 1,390cm)	H24: 1,850cm	H23: 1,415cm
国道113号 小国除雪ST	H25: 990cm(5ヶ年平均 728cm)	H24: 1,044cm	H23: 733cm



### ◆雪崩緊急点検実施結果

- 国道13号、国道47号、国道112号、国道113号における雪崩等の発生が懸念される斜面箇所を点検した結果、今回は雪崩発生の危険性が高い箇所はありませんでした。
- 早急に対策が必要な箇所はありませんでしたが、継続的に目視点検を実施し、雪崩予防策として堆雪ポケットの確保、雪底処理等の対策を行っていくこととしております。